



パナソニック松愛会
京 都 支 部
2012年7月
第 13 号
発行人 北村 八郎
TEL/FAX:075-314-2489

京都支部ホームページ <http://www.shoai.ne.jp/kyoto/>

2012 年度
年次総会
145 名が年次総会に出席
満場一致で承認



活動内容をスライドショーで視聴

新緑薫る季節の5月22日(火)に、国立京都国際会館「さくらの間」で京都支部総会が開催されました。今年度は京都支部購入のプロジェクトで、会場正面のスクリーンに前年度の活動内容をスライドショーで視聴していただきました。

総会は145名が出席し、第1部は近隣の会員相互の親睦を深めるため、行政区ごとに割り振った座席に着席していただきました。議事は、会員と配偶者32名の物故者の方々から黙祷後、北村支部長のあいさつ、来賓の松愛会本部の和田副会長から京都支部

の活発な諸活動に対し、お褒めの言葉をいただきました。その後は社長メッセージ、全国総会報告、京都支部の活動経過と会計報告がされ、会員のご理解とご協力と新年度の役員選任と新旧役員との紹介があり、畑副支部長、住山地区委員の2名が退任、新たに栗山地区委員、石野地区委員が就任しました。退任者を代表し、畑さんから府北部担当の懐かしい思い出を交えてあいさつされました。

次に、本年度の役員選任と新年度の役員選任と新旧役員との紹介があり、畑副支部長、住山地区委員の2名が退任、新たに栗山地区委員、石野地区委員が就任しました。退任者を代表し、畑さんから府北部担当の懐かしい思い出を交えてあいさつされました。

続いて北村支部長から本年度の活動方針が示され、本年も引き続き支部と会員の絆をより深め、一人でも多くの会員に参加していただける各種行事・活動・同好会活動を積極的に進めたいと発表されました。

その後、2012年度の予算計画が説明され、本年度の活動方針はすべて満場一致で承認されました。会員質疑応答の後、富上地区委員の発声で松愛会のスローガンが唱和され、第1部を終えました。

今年も会場後方で「文化作品展」が開催され、大勢の方が熱心に作品に見入っていました。絵画、写真、陶芸、手工芸や絵手紙同好会の多くの作品は力作ぞろい、日ごろの会員のご精進の結果を拝見できました。小休憩後の第2部の昼食懇親会は自由席になり、和田

副会長の乾杯で開宴しました。長岡京市市議会の進藤議員からごあいさつをいただき、どのテーブルでも酒を酌み交わしながら楽しく歓談されていました。予定時間が迫ったところ、前京都支部長の太崎さんの元気な締めで閉宴となりました。(3ページに社長メッセージを掲載)



退任の畑氏(左)と住山氏(右)

思いづくままに

人生で出会う人は決まっているのでしょうか。一人の人間が人生の中で出会う人の数は一体どれくらいでしょうか。一説では、人が一生で出会える人数は3万人、学校・職場で3千人、そのうち親しく話すのが300人。ちなみに、私も支部行事や同好会に参加し、いい出会いをしています。人とのいい出会いやかかわりは、自分の生活や生きがいにもつながると思います。人に出会うと、情報やいろいろな機会にも恵まれます。自分も出会う人とお互いに影響を享受し合い、意識することによっていい人間関係が築けると思っています。

◆お忘れ物のお知らせ
総会にご参加の皆様には大変お疲れさまでした。当日、帽子のお忘れ物がありましたので、お知らせいたします。お心当たりの方がおられましたら、大江地区委員(075-752-0207)が預かっています。



諺に「袖振り合うも多生の縁」とあるように、ささいな出来事でも単なる偶然でなく、すべて前世からの因縁で、どんなささやかな出会いも大切にしたいという気持ち。いろいろな人に会って、話をして人生を豊かにしたいものです。きょうも素敵な出会いがありますように。(森岡 早苗)